

当院で膵嚢胞性病変に対して膵体尾部切除術を受けた患者さんの 診療情報等を利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、九州医療センター倫理審査委員会の審査を受け、病院長承認のもと、下記の臨床研究（症例報告）を実施しております。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当該研究に診療情報等が用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の〔相談窓口〕までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

研究課題名	粘液性嚢胞腫瘍の悪性化を疑わせた膵リンパ上皮嚢胞の 1 例：膵嚢胞性病変における診断上の pitfall
研究実施機関の 研究責任者	九州医療センター 肝胆膵外科 責任者氏名 野村頼子
研究の背景	膵リンパ上皮嚢胞（lymphoepithelial cyst：LEC）は、膵臓に発生する稀な良性嚢胞性病変です。LEC は悪性腫瘍ではありませんが、嚢胞の大きさ、隔壁構造、膵外へ突出するような発育、血液検査での腫瘍マーカー上昇などにより、粘液性嚢胞腫瘍（mucinous cystic neoplasm：MCN）などの腫瘍性病変との鑑別が難しい場合があります。 本症例では、膵尾部の大型嚢胞性病変、隔壁構造、CA19-9 高値などから、術前には MCN の悪性化を否定できず、手術を行いました。手術後の病理検査で LEC と診断されました。このような症例を検討することは、膵嚢胞性病変の画像診断における注意点を明らかにし、今後の診療の参考になると考えられます。
研究目的	本研究の目的は、当院で経験した膵リンパ上皮嚢胞の 1 例について、診療録に記録された臨床経過、血液検査、画像検査、手術所見、病理所見を後方視的に検討し、粘液性嚢胞腫瘍との鑑別が困難であった要因および膵嚢胞性病変の診断上の pitfall を明らかにすることです。 得られた知見は、学会発表を通じて、今後の膵嚢胞性病変の診断精度向上に役立てることを目指します。
研究実施期間	【調査対象期間】2024 年 9 月～2026 年 5 月まで 【研究期間】倫理審査委員会承認後から西暦 2026 年 9 月 30 日まで
研究の方法	【対象となる方】 調査対象期間中に、当院で膵尾部の嚢胞性病変に対してロボット支援下膵体尾部切除術を受け、術後の病理検査で膵リンパ上皮嚢胞と診断された患者さんが対象となります。 【調査方法】

	診療録から必要な情報を収集し、個人を特定できる情報を削除したうえで、画像所見、手術所見、病理所見、術後経過を後方視的に検討します。 【研究に利用する診療情報】 ● 年齢、性別、身長、体重などの基本情報 ● 受診契機、症状、既往歴、診断名などの臨床情報 ● 血液検査データ（血清アミラーゼ、CA19-9 など） ● 画像検査データ（CT、MRI、EUS など。個人を特定できる表示を削除した画像を含む） ● 手術に関する情報（術式、手術方法、手術所見、手術時間、出血量など） ● 病理検査に関する情報（肉眼所見、組織学的所見、免疫染色結果、病理画像など） ● 術後経過、入院期間、合併症または有害事象の有無 これらの情報は、個人を特定できる氏名や住所、電話番号などを削除したうえで研究に使用します。 【情報等の管理】 ● 試料・情報の管理責任者 九州医療センター 肝胆膵外科（医師）野村頼子
個人情報の取扱い	情報等には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所、生年月日、患者番号など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。画像データを使用する場合にも、個人を特定できる表示を削除したうえで使用します。研究成果は学会で公表される可能性があります。個人が特定されることはありません。
研究組織	この研究は、当院のみの単施設研究です。 研究代表施設（研究代表者） 九州医療センター 肝胆膵外科（職名：医師）野村頼子
相談窓口	九州医療センター 肝胆膵外科（職名：医師）野村頼子 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700